

教育委員会だより

Kiyose

日本の「清瀬」から世界の "Kiyose" へ

きよせ

49号

平成28年(2016年)
9月1日発行

新編 清瀬風土記

特集

郷土博物館展示室が 7月1日にリニューアルオープンしました

掲載記事

P2～3 郷土博物館展示室が7月1日にリニューアルオープンしました

P4 ご存知ですか?教育委員会の制度が変わりました

P5 「図書館ブックスタート事業」3～4か月児健診で絵本とバッグをプレゼント～絵本を通して親子の絆を深めよう～／清瀬市・立科町友好交流促進事業風かおる!田植え体験バスツアー

P6 特別支援教室について／第5回突撃インタビュー清瀬の素敵な先生たち

P7 第2次清瀬市総合計画マスタープラン検討委員会による答申／教育委員のご紹介
全国市町村教育委員会連合会表彰／教育委員会の動き

P8 野菜を身近に!(食育の取り組み)／地産地消の取り組み(学校給食への地元野菜等の活用)

郷土博物館展示室が7月1日にリニューアルオープンしました

郷土博物館の歴史展示室は各時代の物をご覧いただくため、平成17年度に開館後初めて的大幅なリニューアルを行い、平成25年度には農家の四季をテーマとして、四季の道具を展示するための一部展示替えを行いました。

今回3度目となるリニューアルでは、清瀬の出来事をテーマに、清瀬の歴史と日本史を比較した年表を展示して、清瀬のたどった歴史を分かりやすく解説しています。また、それに加えて各時代の様子を写した映像展示も行い、歴史と当時の暮らしを体感できるスペースとしました。



郷土博物館
マスコットキャラクター
ひいらぎちゃん

展示タイトル『新編清瀬風土記』とは

風土記とは地方の歴史や文物を記した地誌の事をいいます。この展示では新たに紐解く清瀬の歴史という意味を持たせ、『新編清瀬風土記』と名付けました。



江戸時代以前

江戸時代以前では、中世にこの地域の警護役を担っていたとされる

清戸番書きよとばんしよに関わる「清戸三番衆着到状（複製）」きよとさんばんしゅうちやくとうじょう、古代の下宿したじゆく内山遺跡出土品や野塩地域で出土した緑釉陶器片りよくゆうとうぎへんなどを展示しています。また平成 26 年（2014 年）に野塩地域で行った発掘調査の成果を展示するコーナーでは、5000 年前の土器片など、初めて公開する出土品が多数ありますのでぜひご覧ください。また、縄文土器の写真を使ったパズルや市内で出土した縄文土器の展開写真をつづった本など、ちょっとした学習や考古学体験をできるスペースも設けています。（展示室案内図①）

江戸時代

江戸時代の展示では、天保 8 年（1837 年）に清瀬から旅立った伊勢参りの記録を中心に展示をしています。交通機関がない天保の飢饉（1833 年～ 1839 年）の最中に、何か月もかかる旅に出た人たちは各地で何を見て、何を思い、何を願ったのでしょうか。旅帳や当時のお札など、貴重な資料をぜひ間近でご覧ください。また、野塩地域の農家の蔵から発見された、江戸時代末期に、もてなしの食事に使われた肥前磁器ひぜんじきの揃いの皿などの展示もしています。（展示室案内図②）



千歯扱き（せんばこき）→
稲や麦の穂から籾を落とす
道具です。

← 唐箕（とうみ）
人工的に風を起こして穀物を選別する道具。
重い実には下に落ち、軽い実には左側から吹き飛ばされます。



明治・大正時代

明治・大正時代を扱うコーナーでは、これまで展示を行っていた、唐箕や千歯扱きなど当時の民具を置いています。映像では明治時代の昇進尋常小学校の様子を再現したアニメ動画や、大正時代に高等小学校（現在の小学校高学年から中学）の子供が描いた絵画図面帳や、日露戦争の際に戦地から届けられた手紙を朗読した動画もご覧いただけます。（展示室案内図③）

昭和の暮らし

展示室の奥には昭和の初めころの一般家庭の居間をイメージしたコーナーを設置しています。ここでは、当時の日常生活で使われていた道具類を展示して、暮らしの一端をのぞけるスペースとしています。

コーナーの前には、おはじきやすごろく、福笑いなどの遊びを体験できるテーブルもありますので、世代を超えて楽しんでください。(展示室案内図④)



戦中から戦後

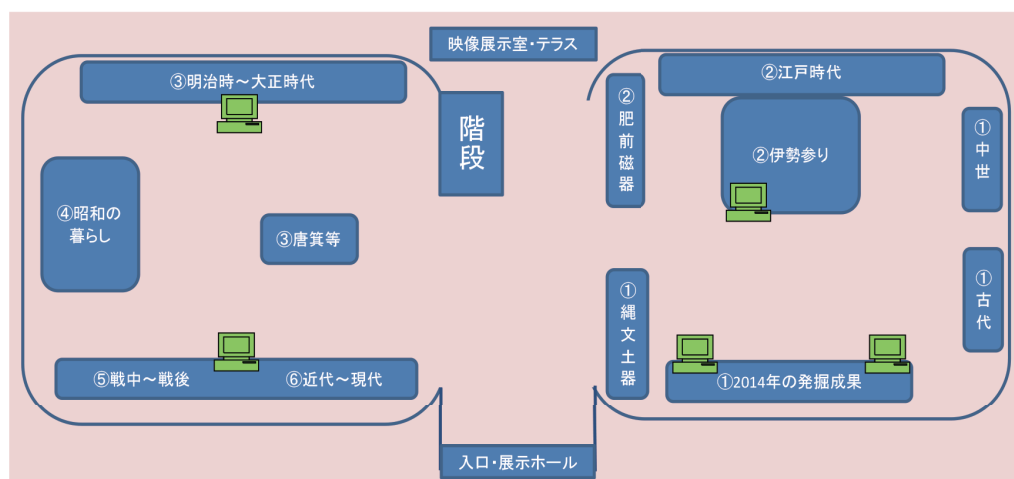
第2次世界大戦(太平洋戦争)は清瀬の歴史の中でも無関係ではありませんでした。これまでの未展示品の中から、市内に投下された爆弾の破片などを常設展示して、戦争の恐ろしさと、多くの犠牲を払って得た平和の尊さを語りついでいきます。(展示室案内図⑤)

近代から現代

現代史では、昭和21年(1946年)から、清瀬市最大の事業となった清瀬駅北口再開発事業の完成(1995年)までを取り扱い、再開後の北口の写真もパネル展示しています。またこのパネルの下には懐かしい黒電話やプッシュ式電話機のほか、平成12年(2000年)前後の携帯電話やパーソナルコンピューターなど、少し前まで使われていた製品も展示しています。時代の出来事を年表で追いながら、その時の暮らしの身近にあったものを展示することで、「自分が子供の頃こういう道具を使っていたなあ」という思い出や懐かしみを感じていただけるのではないかと思います。また映像資料として、昭和48年(1973年)に清瀬市が制作したビデオ「私たちの清瀬」と平成2年(1990年)に制作された「私たちのまち清瀬」という2つの映像を放映していますのでぜひご鑑賞ください(1編およそ15分)。(展示室案内図⑥)

以上のように、新しい展示では清瀬の歴史や文化に興味を持っていただけるよう、様々な工夫をしましたので、今後の文化活動、知的好奇心の探求・学校教育などにぜひご活用ください。ご来場をお待ちしています。

展示室案内図



【開館時間】午前9時から午後5時

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)及び12月29日から1月3日

【アクセス】西武池袋線「清瀬駅」北口より徒歩約10分。または、北口バス乗り場1番より西武バス「けやき通り」経由旭が丘団地」行きで「郷土博物館入口」下車徒歩約1分。

※詳しくは郷土博物館まで ☎493-8585

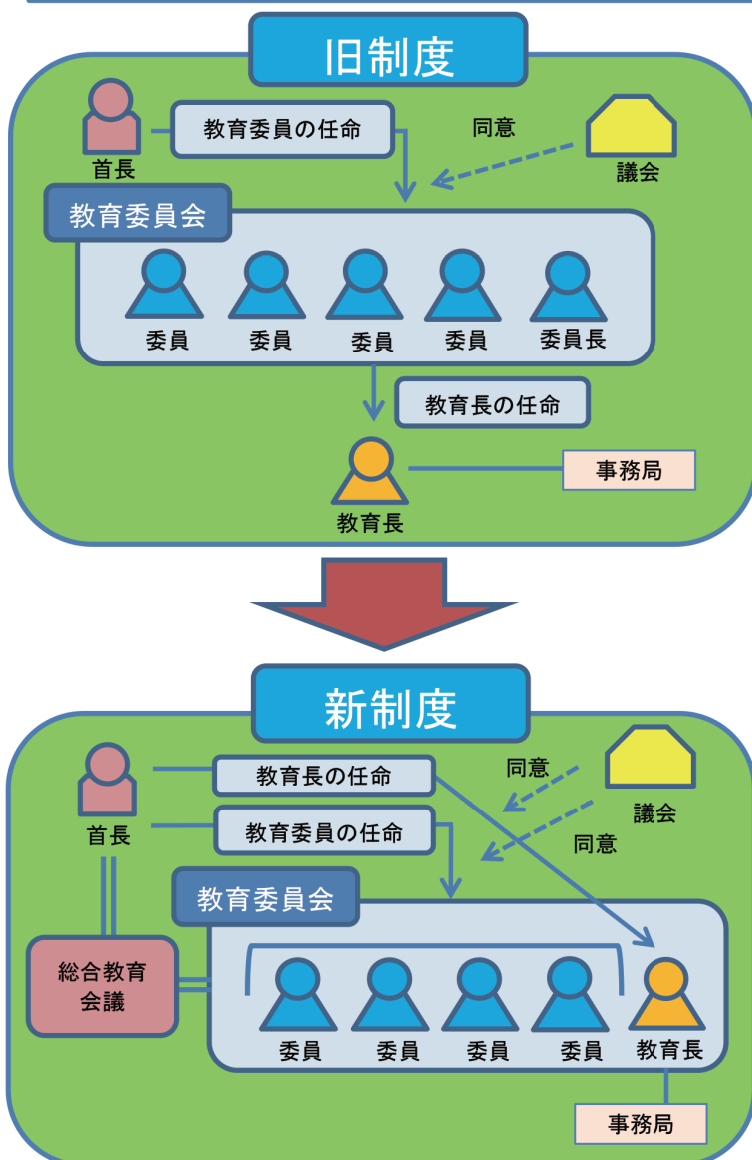
ご存知ですか？教育委員会の制度が変わりました

平成 27 年 4 月 1 日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正されました。施行によって清瀬市の教育委員会の制度がどう変わったのか、新しい制度の概要と改正のポイントをお伝えします。

①教育委員長と教育長を一本化した「(新)教育長」を設置しました

法律改正の背景には、近年各地で起こったいじめや体罰に起因するとみられる自殺事件をきっかけとして、教育委員会の責任の不明確さや危機管理能力の低さなどの問題が指摘されてきたことがあります。そうした中で、従前から持つ教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るために制度改革が行われました。

新制度では、教育委員長と教育長を一本化した新たな責任者として教育長が置かれ、教育長と教育委員は、市長が議会の同意を得て任命することになりました。



②市長と教育委員会が協議・調整する場として「総合教育会議」が設置されました

市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、教育の課題やあるべき姿を共有しながら教育行政を推進するため、「総合教育会議」を設けることになりました。主に、「教育大綱」の策定、教育を行うための条件整備や児童・生徒の生命・身体 の保護が必要な場合の対応などを協議する場で、今年度は2回開催する予定です。

③教育に関する「大綱」を市長が策定しました

学校教育と社会教育の充実を一層実現できるよう、今後、重点的に取り組むべき事項を明らかにした「清瀬市教育大綱」を総合教育会議で策定し、平成28年3月に公表しました。「清瀬市教育大綱」については、ホームページをご覧ください。

※教育大綱…教育の目標や施策の根本的な方針となるもの。「総合教育会議」で協議・調整の上、策定する。

④教育委員によるチェック機能の強化と会議の透明化を図っていきます

教育委員定数の1/3以上(清瀬市の場合では2人以上)からの会議の招集の請求、教育長が委任された事務の管理・執行状況の報告義務、会議の議事録の作成・公表などが規定されました。

新制度における清瀬市教育委員会では、「清瀬市教育大綱」に基づき、市長部局と教育委員会が、教育の課題や目指す方向を共有し、一体となって教育行政を推進していきます。

「図書館ブックスタート事業」

3～4か月児健診で絵本とバッグをプレゼント
～絵本を通して親子の絆を深めよう～

「ブックスタート」をご存知ですか？

写真の絵本

左上「だるまさんが」（かがくいひろし作 ブロンズ新社）

右上「ととけっこうよがあげた」（こばやしえみこ案 ましませつこ絵 こぐま社）

下中央「はらぺこあおむし」（エリック・カール作 もりひさし訳 偕成社）



絵本は、3冊から 1冊お選びいただきます。

ブックスタートは、赤ちゃんの頃から絵本の読み聞かせを通して、親子の絆を深めるための活動です。1992年にイギリスで始まり、2000年代に入ると日本でも急速に広まりました。今では全国の自治体で実施されています。赤ちゃんに絵本を読んで分かるのかしら?と思われるかもしれませんが、目で色や形を、耳で音や言葉のリズムを楽しむ絵本があります。何より赤ちゃんに語りかける言葉は、きっと赤ちゃんの心の奥に届くはずですよ。

図書館では平成 16 年より図書館読み聞かせボランティアの方々との協働で、1 歳 6 か月児健診の合間に、絵本の読み聞かせとブックリストの配布を行ってきました。また、けやきホール、野塩地域市民センター、竹丘地域市民センター、児童センター（ころぼっくる）で実施している「つどいの広場」で、月に 1～2 回「赤ちゃんとお母さんのためのおはなしのじかん」を実施し、手遊びやわらべうた、絵本の読み聞かせにより、絵本の楽しさを分かち合っています。

今年度から、3～4 か月児健診を受診された赤ちゃんに、絵本 1 冊とトートバックをプレゼントすることになりました。ぜひ、差し上げた絵本をご家庭でお読みいただき、赤ちゃんとおふれあってください。3～4 か月児健診を受診されなかった方には、お知らせの通知と一緒に絵本引換券をお送りしますので引換券をお持ちになり、中央図書館でお受け取りください。

※詳しくは中央図書館まで ☎493-4326

清瀬市・立科町友好交流促進事業

風かおる!田植え体験バスツアー

昨年3月に清瀬市と長野県立科町は「友好交流都市」を結びました。これを機会に今後も立科町との交流を一層深め、相互の友好関係を発展させることを目的とした体験バスツアーを5月28日(土)～29日(日)1泊2日で開催し、子供から大人まで、多くの市民の皆さんが参加しました。



～1日目～

立科町交流センター^{こうふくかん}耕福館にて、立科在住のインストラクターからの指導のもと田植え体験を行いました。田んぼの中に足を踏み入れて苗を一本ずつ植える作業を行った子供たちにとって、貴重な経験となりました。秋にはおいしいお米が収穫されて宅配される予定で、こうした体験を通じて生産者や食することへの感謝の気持ちが芽生えるきっかけと、双方の交流の活性化につながればと思います。

～2日目～

2 日目は車山高原で約2時間のハイキングを行いました。絶好の天気の中、高原の広大な風景を見ながらのハイキングは参加者からの喜びの声が絶えず、その後、たっぷりかいた汗を流しに立科町内にある温泉施設「権現の湯」に立ち寄り、疲れを癒して心地よく帰路につきました。

今回は、田植え体験ということもあり、子供連れの家族での参加が目立ちましたが、ご高齢の参加者の方からも「生まれて初めての田植え体験が出来てよかった」というお声をいただき、年齢に関係なく楽しめる内容でした。今後も、立科町の方との交流をさらに深めることが出来るような企画を実施していきたいと考えていますので、ぜひご期待ください。

※詳しくは生涯学習スポーツ課まで ☎495-7001

特別支援教室について

特別支援教育は、子供の可能性を最大限に伸ばすことを目指しています。

支援が必要な児童は全国的に増加傾向にあります。適切な支援や指導を受けることにより一人一人の能力が発揮できる場が広がります。特別支援教室も一人一人の能力を発揮するために必要な学習を行う一つの学び場です。

東京都では、平成30年度までに小学校の「情緒障害等通級指導学級」が「特別支援教室」に変わります。これまで発達障害等で通級による支援の必要な児童は、通級指導学級（本市においては清瀬第八小学校くぬぎ学級）で、コミュニケーション等に関するその児童に必要な指導を受けてきました。しかし、児童は保護者に付き添ってもらいながら通っていたので、必要があっても通級できなかったり、学級担任が通級での様子を把握しにくく、通級指導学級での指導を在籍学級で活かしにくかったりということがありました。

こうした通級指導学級の課題に対応するため、市では平成29年度、30年度の2か年で全小学校に特別支援教室を設置することになりました。

現在の通級指導教室体制

清瀬第八小学校くぬぎ学級に児童が通い、指導を受ける。

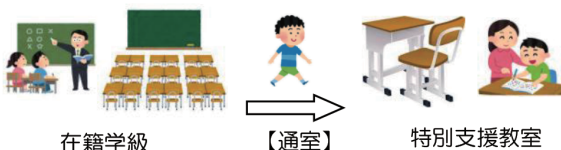


他校への通級での主な課題

- 他の学校での指導のため、在籍学級担任と通級指導学級の担任教員の緊密な連携が図りにくい。
- 他校への移動中は在籍学級での授業が受けられない。
- 保護者の送迎が必要である。

清瀬型の特別支援教室

- ・特別支援教室で指導を行う担任の先生が毎日学校にいます。
- ・時間割に合わせて特別支援教室でも授業を受けます。



特別支援教室で期待される効果

- 在籍学級担任と特別支援指導教諭との連携が密接になり、児童の困り感にそった指導が受けやすくなります。
- 在籍学校の行事等による授業の変更等に対応しやすくなります。
- 専門員が巡回することで、児童の困り感にそった有効な支援を受けることができるようになります。
- 在籍学級担任や保護者が本人の困り感を知る機会が増え、理解が深まります。
- 児童が他校に通う負担や保護者の送迎の負担が解消されます。

清瀬市では、平成29年度に清瀬第八小学校・清瀬第十小学校・清明小学校の3校で先行実施します。なお、以前から各学校の支援ルームで実施している少人数の学習は、今後も継続されていきます。

特別支援教室についての説明会を開催します。

日 時：平成 28 年 10 月 8 日（土）15：30 から
場 所：ころぼっくるホール（児童センター）

特別支援教室開設予定校

	第八小学校	第十小学校	清明小学校
平成29年度	※上記の3校以外は、これまで通り清瀬第八小学校で通級指導を行います。		
平成30年度	清瀬小学校 第四小学校	芝山小学校 第六小学校	第三小学校 第七小学校

第5回 突撃インタビュー！ 清瀬の素敵な先生たち

清瀬の小・中学校でがんばっている先生たちを紹介していきます。第5回は清瀬第三中学校の中田陽士先生です。

○どのような仕事を担当していますか？

・保健体育科、2学年主任、陸上競技部顧問、清瀬市東京駅伝監督などです。

○先生になろうと思ったのはなぜですか？

- ・休みが多いと思ったから（ところがどっこい……）
- ・中学校の頃の担任の先生の影響を受けて（自信をつけてくれた。）
- ・生徒一人一人の人生の一部に関われる魅力から（怖さもありますが……）

○清瀬第三中学校の生徒のよいところを教えてください。

- ・明るく素直で、人柄が良いところ、地域の方々を大切にしているところ・良く働くところ。
- ・行事に一生懸命取り組める熱さがあるところ・組体操や剣道の授業を真剣に行うところ。

○生徒と関わるときに大切にしていることは何ですか？

- ・絶妙な距離感を保つこと・自分の限界を決めさせず、勇気をもてるように背中を押してあげること。



※詳しくは指導課まで ☎497-2552

第2次清瀬市総合計画マスタープラン検討委員会による答申

清瀬市教育委員会では、平成29年度から平成37年度の9年間を計画期間とする中・長期的な計画を策定するため、公募市民や学識経験者など17人の委員による「第2次清瀬市教育総合計画マスタープラン検討委員会」を設置し、平成27年12月から平成28年8月までの全7回にわたり検討・審議が行われ、8月30日に坂田教育長に対して答申されました。

答申においては右の図のとおり、マスタープランの計画の基本理念と5つの柱についてまとめられました。

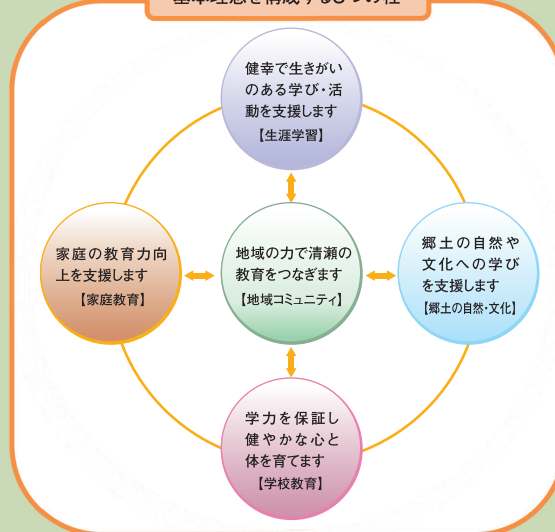
今後、教育委員会では答申の内容を踏まえ、実行計画を策定し、清瀬市の教育の現状と課題、解決に向けた具体的な取り組みや事業内容を示していきます。

※会議の議事録、答申書は、市ホームページや情報公開コーナー（市役所3階）でご覧いただけます。

基本理念

「子供が育つ 市民が育つ まちも育つ清瀬の教育」

基本理念を構成する5つの柱



教育委員の ご紹介



粕谷 衛 氏

松村重樹委員長の任期満了にともない、平成28年4月1日より粕谷衛氏が清瀬市教育委員に就任されました。任期は、平成32年3月31日までです。
■学校法人粕谷学園清瀬たから幼稚園副園長。
2016年度清瀬青年会議所直前理事長。

平成28年3月に任期満了にともない退任された松村重樹前委員長に対して、全国市町村教育委員会連合会から功労者表彰状が贈呈されました。

松村前委員長は8年間（2期）清瀬市教育委員会において、清瀬市の教育の充実のためにご尽力されました。



松村前委員長が 表彰されました

坂田教育長（左）から表彰状を受ける松村前委員長（右）

教育委員会の動き

平成28年3月から平成28年8月までの審議状況をお知らせします。この間に定例会を6回、臨時会を1回開催しました。審議された議案は下記のとおりです。

- 清瀬市教育委員会が保有する個人情報の保護等に関する規則の一部を改正する規則について
- 平成28年清瀬市立学校教育課程について
- 清瀬市教育委員会教育長の辞職について
- 清瀬市教育委員会教育長職務代理者の選挙について
- 清瀬市男女共同参画センター運営委員会委員の推薦について
- 事務の臨時代理の承認について
- 清瀬市立図書館協議会委員の選任について
- 清瀬市スポーツ推進委員の選任について
- 清瀬市民生委員推薦会補欠委員の推薦について
- 事務の臨時代理の承認について
- 「清瀬病院跡地」の清瀬市文化財指定に係る諮問について
- 平成29年度清瀬市公立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について
- 平成28年度清瀬市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成27年度分）について

記事のお詫びと訂正

平成28年3月1日発行48号教育委員会だより7ページ、「清瀬市教育委員会表彰について」囲みの内、お名前に誤りがありました。

（誤）降矢 麻由さん（正）降矢 麻友さん

ご本人、ご家族の方ならびに関係者の皆さまに、大変ご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

※詳しくは教育総務課まで ☎497-2537

野菜を身近に！ (食育の取り組み)

清瀬第四小学校では、地場産野菜の皮むき体験をしています。1年生は、その日の給食に使う四小全員分のとうもろこしの皮むきをしました。まず、とうもろこしを納品してくださっている市内の生産者の方から、いろいろなお話をいただきました。

根がついている株を畑から持ってきて見せていただき、子供たちは、自分たちよりも背の高いまっすぐに伸びたとうもろこしの株に大興奮でした。おいしいとうもろこしを育てるには、太陽の光、水、肥料だけでなく、毎日、様子をしっかりと見ることが大事ということを学びました。一本一本のとうもろこしは、生産者が真心こめて大切に育てたものであることが子供たちに伝わったことで、残さず食べようという意識が高まり、みんなでおいしくいただきました。

給食で使用している地場産野菜は、じゃがいも、たまねぎ、大根、人参、ほうれん草、きゅうりなどたくさんあります。葉だけをみせて、“何の野菜でしょうか？”とクイズにして紹介するなどの取組も行っています。



①自分たちより大きなとうもろこしの株に子供たちはびっくり。

②四小全員分のとうもろこしの皮を1年生が一生懸命むきました。給食でおいしくいただきました。

地産地消の取り組み (学校給食への地元野菜等の活用)

清瀬市では、「地産地消の推進」として、学校給食への地元野菜等の活用を積極的に進めています。

地産地消のメリット

- 1 新鮮でとれたての食材が手に入る
市内で作られる食材を購入すれば、「とれたて」で「新鮮」な食材で給食が作れます。
- 2 「生産者の顔が見える」= 安心につながる
上の四小のように、学校では、納品している生産者に「こだわり」や「食べ方」、「おいしさ」、「苦勞」など、直接子供たちに話に来ていただくことにより、農に対する理解が深まり、食への興味もできます。
- 3 環境にやさしい
その地域の食材を食べるということは、食材の輸送距離を減らすことにもつながり、輸送に伴う二酸化炭素の排出が少なくなるなど、環境への負担が小さくなります。
- 4 旬を知ることができる
現在では、季節を問わず様々な食材が手に入りますが、実は食材には旬といわれるおいしい時期があります。その時期にあわせて、おいしい食材で献立がたてられます。
- 5 地域とのつながりが強まります
学校で食材の教育をすることにより、家の近くの農家直売にも目が向き、地域の活性化につながります。また、地域とのつながりが強くなっていくことで、食と農の距離を縮めていけます。

新鮮な清瀬の野菜を子供たちに

学校・農業委員会・生産者代表、農協、市役所の関係部署が集まり、「学校給食への地場産野菜の活用」について平成26年度より話し合いが始まり、課題解決にむけて試行錯誤しながら取り組んでいます。

今年度は、6月より朝の配達便がスタート。とれたて野菜を芝山小・四小・二中・四中へシルバー人材センターの方に配達していただいています。子供たちに新鮮な清瀬の野菜を少しでも多く届けられるようにと考えています。

※詳しくは教育総務課学務係まで ☎497-2539

◆本紙の音声版をウェブサイトで配信しています。また、秘書広報課で音声版を収録したCDを貸出しています。

編集・発行

清瀬市教育委員会

電話 042-492-5111 (代表) FAX 042-495-3940

ウェブサイトURI <http://www.kiyose.ed.jp/>

教育委員会だより きよせ

検索

本紙へのご意見・ご感想をお寄せください。